

各位

2024年3月12日

株式会社 山と溪谷社

<https://www.yamakei.co.jp/>

似たサメの違いがイラストでよくわかる！ ヒレや歯、体型、模様の違いなど色々くらべてみよう。
『くらべてわかるサメ』刊行

インプレスグループで山岳・自然分野のメディア事業を手がける株式会社山と溪谷社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:二宮宏文)は、『くらべてわかるサメ』を刊行しました。



「くらべてわかる図鑑」シリーズの新作！

似たもの同士の写真をくらべる事で見分けをサポートする「くらべてわかる図鑑」シリーズに「サメ」が新登場。本書は写真ではなくイラストでサメを紹介することで、より似たもの同士を見くらべやすい図鑑となりました。また解説にはすべての漢字にふりがなを付けているので、子どもと一緒に楽しむことができます。

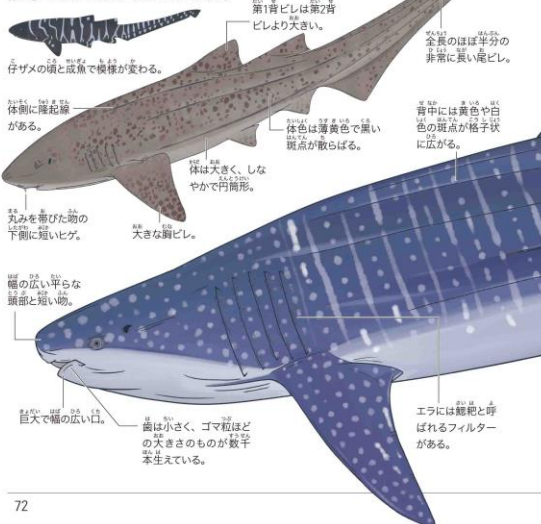
トラフザメ科

Stegostomatidae

トラフザメ

Stegostoma tigrinum

仔ザメは背側が暗褐色、腹側が淡黄色で、黒い横線がある。50~90cmまで成長すると黒い部分が薄くなり、ヒョウ柄模様に変化してゆく。日中は海底で休息していて胸ビレで体を持ち上げ、口を流れていって呼吸を行う。強い流れが待たれる岩の間の水路が休息場所として好まれる。夜間やエサがある時は活発になる。泳ぎは素早くて力強く、体と尾ビレをワナギのようにうねらせることで進む。



卵生
卵の大きさは20cmほどで海面に固定するための糸状の束がある。

分布：西部太平洋、インド洋、日本では北海道、南日本など。
食性：小さな硬骨魚類、甲殻類、軟体動物など。

最大全長3.5m

第1背ビレは第2背ビレより大きい。

全長のほぼ半分、非常に長い尾ビレ。

背中には黄色や白色の斑点が格子状に広がる。

体色は薄黄色で黒い斑点が散らばる。

体は大きく、しなやかで円筒形。

大きな胸ビレ。

丸みを帯びた吻の下側に短いヒゲ。

幅の広い平らな頭蓋と短い吻。

巨大で幅の広い口。

歯は小さく、ゴマ粒ほどの大きさのものが数本生えている。

エラには鰓耙と呼ばれるフィルターがある。

ジンベエザメ科

Rhincodontidae

ジンベエザメ

Rhincodon typus

ジンベエザメの背中にある黄色や白色の格子状の斑点模様は、1尾1尾違うため個体を見分けるのに使われる。成長は遅く、大人になるのに30年かかり、寿命は100年以上と考えられている。食事はダイナミックで大量の海水と一緒にエサを飲み込み、エラにある鰓耙を通してエサだけをこしとり、海水は体の外に出される。

卵生
約300尾の仔ザメを産む。

分布：大西洋、インド洋、南太平洋、日本では北海道より南。世界中の暖かい海域の沿岸から外洋の表層域に生息する。
食性：プランクトン、オキアミ、小魚、魚の卵。

大きな尾ビレ。

最大全長21m

世界一大きな魚

すべての魚類の中で最大の種で、鯨類以外での最大の動物。エサとなるプランクトンは海面付近に多いため、海面近くでほとんどの時間を過ごす。尾ビレは下葉も長く、「K」の字になっている。

イタチザメ科

Galeoceridae

イタチザメ

Galeocerdo cuvier

主に夜明けや日没の時間帯に活動し、沿岸域から遠洋域まで生息する傾向にある。人にとっても危険性が有り、生息地域では要注意。「海ごみ箱」の異名を持つほど何でも食べる。自動車のナンバープレートが胃袋からでてきたこともある。

卵生
卵を産み、卵を保護して産む。10~80尾の仔ザメを産む。

最大全長4~6mほど

吻先は短い。

黒目がちで大きな目。

吻先は四角く、平たくて広い。



ギザギザでノコギリ状の歯。

なんでも食べる危険なサメ

イタチザメ一種からなる。巨大なサメで、最大全長7mを超える個体も発見されている。沿岸に生息しており、人を襲うこともあるため、ホホシロザメなどと並んで危険なサメと言われる。

分布：太平洋、インド洋の熱帯、亜熱帯から温帯海域など。日本では青森県以南に分布。
食性：硬骨魚類、甲殻類、哺乳類、鳥類、爬虫類、軟体動物など。

第2背ビレと背ビレは小さく、ほぼ同じ大きさ。

若い個体には縞模様がある。成熟するにつれて薄くなり灰色になる。

タイワンザメ科

Proscylliidae

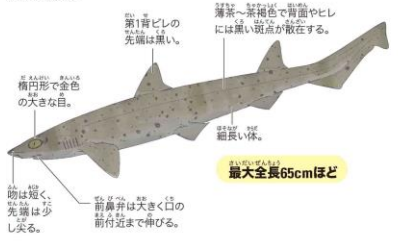
タイワンザメ

Proscyllium habereri

泳ぎながら、獲物の匂いを嗅いで、ゆっくり近づき捕まえる。砂に隠れている獲物を掘り起こして食べている可能性もある。名前がタイワンと付いているが、台湾以外の日本や韓国の近海でも生息している。ヒョウザメと似ているが、斑点やヒレの位置で区別できる。

卵生
2個の卵を産む。

分布：西部太平洋沿岸部、朝鮮半島、台湾、中国、東南アジア。日本では千葉県以南など。
食性：小型の硬骨魚類、イカ、タコなどの頭足類、甲殻類など。



楕円形で金色の大きな目。

吻は短く、先端は少し突出する。

第1背ビレの先端は黒い。

薄茶〜茶褐色で背面やヒレには黒い斑点が散在する。

細長い体。

最大全長65cmほど

タイワンザメと同種か？別種か？ヒョウザメ

体には暗色斑点が無数にある。性格も穏やかで飼育されることも多い。タイワンザメと同種かどうかは、今でも調査が進められている。



分布：西部太平洋沿岸部など。日本では西宮、九州、沖縄の南日本に分布。
食性：小型の硬骨魚類、イカ、タコなどの頭足類、甲殻類など。

識別点がわかりやすい。見て楽しい、わかって楽しい図鑑
掲載しているサメの種数はなんと150。「背ビレの大きさが違う」「目と吻までの距離が近い」などイラストに識別点が入っていて違いが見くらべやすいのはもちろん、「妊娠期間が2年」「ほぼ全身に発光器を持ち、光る」「ド

深海のどこに棲んでいる？ 生息域もくらべてみよう


本図鑑にはサメたちが浅瀬から深海までどこに棲んでいるかがくらべてわかる「生息域をくらべよう」のページ付き。また、「カグラザメ目」「ラブカ科」などサメたちの分類についてもわかりやすく解説したので、はじめてのサメ図鑑としても最適です。

くらべてみよう カグラザメ目

生きて化石と呼ばれるサメも
三叉の歯やエラ孔が6~7対もあるなど古代サメの特徴を持っていて「生きて化石」と呼ばれるものもいる。背ビレは1基で臀ビレがある。水深1000mの深海から見つかるものが多いのも特徴のひとつ。

ラブカ科
古代サメの特徴でもある三叉の歯があり、古代に生息していたサメの形質を残しているので「生きて化石」とも呼ばれる。


ラブカ
ワナギのように細長い体だが、泳ぐスピードは速くはない。妊娠期間が2年ととても長い。




カグラザメ科

体の形は細長いものが多く、口が大きいのが特徴。エラ孔は6対か7対と他のサメよりも多い。


カグラザメ
カグラザメ科の中では一番大きい。クジラなどなんでも捕食する。




エビスザメ
吻が長く、口角が上がっている様子がえびず麗にたとえられる。




シロカグラザメ
体は細長く、目が大きい。口は頭部の下側に付いている。



エドアブラザメ
大きく、緑色で光をよく反射する目を持つ。



カグラザメ目の生息域をくらべよう



監修はサメの飼育数・種数が日本一のアクアワールド茨城県大洗水族館。イラストはサメイラストレーターめかぶさんが全描き下ろし。

■内容

サメの基本を知ろう

くらべてわかるサメのカラダ

くらべてわかるサメのフシギ

カグラザメ目：ラブカ科／カグラザメ科

キクザメ目：キクザメ科

ツノザメ目：ツノザメ科／アイザメ科／カラスザメ科／オンデンザメ科／ヨロイザメ科／オロシザメ科

ノコギリザメ目：ノコギリザメ科

カスザメ目：カスザメ科

ネコザメ目：ネコザメ科

テンジクザメ目：クラカケザメ科／オオセ科／テンジクザメ科／コモリザメ科／ブラカエルルス科／トラフザメ科／ジンベエザメ科

ネズミザメ目：オオワニザメ科／シロワニ科／ミズワニ科／ミツリクザメ科／メガマウスザメ科／オナガザメ科／ウバザメ科／ネズミザメ科

メジロザメ目：トラザメ科／ヘラザメ科／メジロザメ科／イタチザメ科／タイワンザメ科／ドチザメ科／シュモクザメ科／ヒレトガリザメ科／チヒロザメ科

【商品詳細】

書名:くらべてわかるサメ

著者:監修/アクアワールド茨城県大洗水族館 絵/めかぶ

定価:1980 円(本体 1800 円+税 10%)

発売日:2024 年 3 月 12 日

仕様:4C・B5 判

ページ数:128 ページ

<https://www.yamakei.co.jp/products/2823063610.html>

【著者情報】

監修/アクアワールド茨城県大洗水族館

サメの飼育種数日本一の水族館。世界に生息する 50 種類以上のサメを展示するほか、繁殖にも成功している。また世界の海と自然に触れ合える巨大水族館で、マンボウなど約 580 種 68,000 点の海の生物に出会うことができる。

絵/めかぶ

サメ愛好家。イラストレーター。古代ザメに関心を持ち始め、サメのトリコになる。著書に『世界のサメ大全』(SBクリエイティブ株式会社)がある。

【くらべてわかる図鑑】

「くらべてわかる」シリーズは、似たもの同士をくらべる事で見分けをサポートする図鑑です。見開きに似ている種類を並べ、違いを引き出し線でわかりやすく解説。どこに注目すると見分けられるかが一目でわかります。現在、野鳥、淡水魚、きのこ、木の葉っぱ、哺乳類、昆虫、甲虫、シダ、カエル、貝殻、蛾、岩石、トンボ、国旗、サメの 15 冊が好評発売中です。

【山と溪谷社】 <https://www.yamakei.co.jp/>

1930 年創業。月刊誌『山と溪谷』を中心とした山岳・自然科学・アウトドア・ライフスタイル・健康関連の出版事業のほか、ネットメディア・サービスを展開しています。

さらに、登山やアウトドアをテーマに、企業や自治体と共に地域の活性化をめざすソリューション事業にも取り組んでいます。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:松本大輔、証券コード:東証スタンダード市場 9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社山と溪谷社 担当:手塚

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-105 神保町三井ビルディング

TEL03-6744-1900 E-mail: info@yamakei.co.jp

<https://www.yamakei.co.jp/>